

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめたので情報提供致します。

I. 事故概要

発生日時 : 令和7年6月4日(水)9時00分頃

作業内容 : 型枠組立(切替)

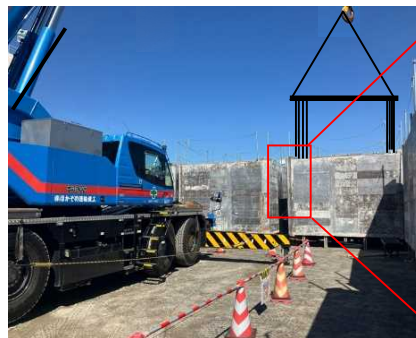
被災状況 : 口腔内挫創、下口唇挫創

II. 事故発生状況

陸上ヤードにて、ケーソンの内型枠の解体・切替作業を行っていた。
内型枠のハンチ部を組み立てるため、ラフタークレーンでテンションを掛け、上足場の作業員がリバージャッキを内型枠に仮設置した。作業員が「一旦離れるから型枠に触るな」と被災者に声を掛けたが、被災者に声が届いておらず、被災者が型枠を叩いたため、振動でリバージャッキが落下し、下部の被災者に当たり被災した。



作業ヤード全景



作業ヤード

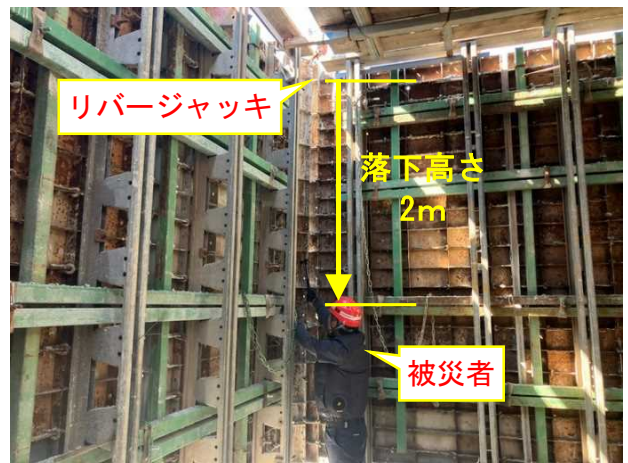


内型枠解体・切替作業箇所



↑ 今回のリバージャッキ
使用状況

→
リバージャッキ
仮設置状況



事故発生時の状況（内型枠の内側）

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) 型枠上足場で作業していた際、作業員がリバージャッキを型枠に仮設置したまま、その場を離れた。
【作業手順の不備】
- 2) その場を離れる際に、被災者に声を掛けたが、被災者に声が届いたか確認しないままその場を離れた。
【確認不足】
- 3) 被災者が型枠上足場の状況を確認せずに下部に立ち入り、上下作業が発生していた。
【危険に対する認識不足】
- 4) 工具の落下防止について、ルール of 制定や見える化がされていなかった。
【作業手順の不備】

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) 落下する恐れのある工具や資材を設置したままにしない。
【安全対策の徹底】
- 2) 作業員間の声掛けの相互確認を徹底する。
【安全対策の徹底】
- 3) 本作業において上下作業は行わないこととし、リバージャッキではなくレバースタックを使用した作業計画の再周知を行う。
【作業手順の改善】
- 4) 工具の落下を防止するため、内マスの外周50cmに工具を放置しないことを現場ルールとする。また、外周足場板に工具等を置かないよう明示用ペンキを塗り、見える化を実施する。
【安全対策の徹底】